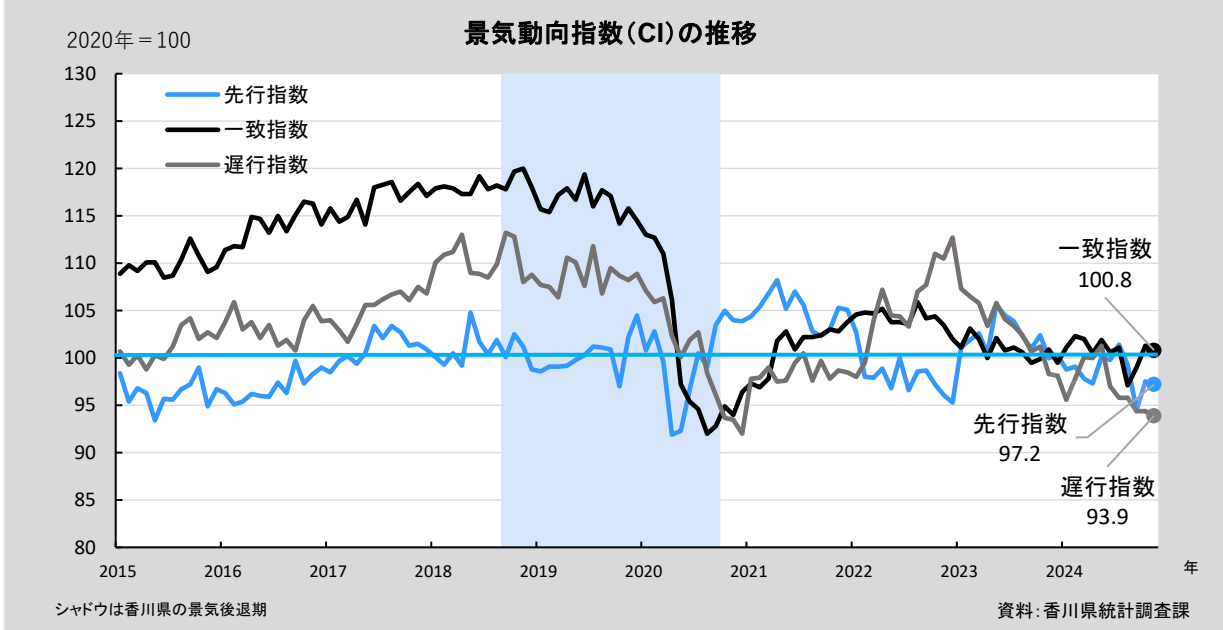


概況	緩やかに持ち直している。
個人消費	堅調に推移している。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直している。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出は減少、輸入は増加している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 3カ月ぶり下降



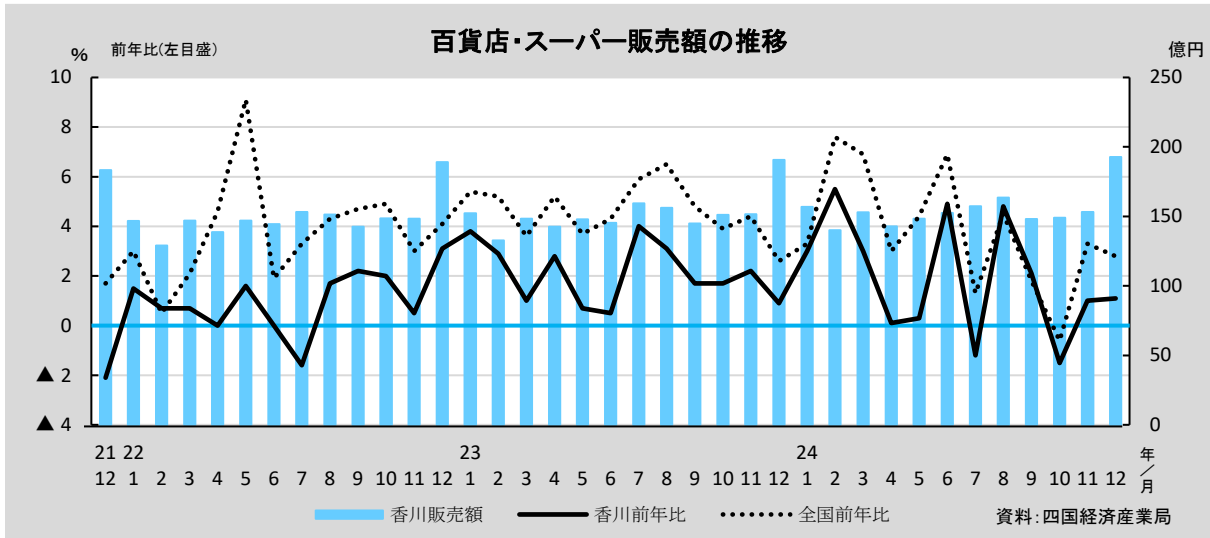
景気の現状をみると、11月のCI一致指数は100.8（前月比▲0.5ポイント）と3カ月ぶりに下降。CI先行指数は97.2（同▲0.3ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI遅行指数は93.9（同▲0.5ポイント）と2カ月ぶりに下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、所定外労働時間指数、雇用保険受給者実人員等が下降に寄与し、前月から0.5ポイント下降となった。

先行系列		寄与度	一致系列		寄与度	遅行系列		寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 0.37	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.55	1 常用雇用指数	▲ 0.31		
	2 新車新規登録・届出台数	0.24	2 有効求人倍率	▲ 0.43	2 有効求職者数	0.23		
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.31	3 所定外労働時間指数	▲ 0.65	3 消費者物価指数	1.17		
	4 新設住宅着工戸数	0.22	4 鉱工業生産指数	0.51	4 家計消費支出	0.27		
	5 金融機関貸出残高	0.12	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.07	5 鉱工業在庫指数	0.06		
	6 消費者態度指数	0.01	6 建築着工床面積	0.42	6 法人事業税調定額	▲ 1.07		
			7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.32	7 第3次産業活動指数	▲ 0.63		

●百貨店・スーパー販売額

2カ月連続増加

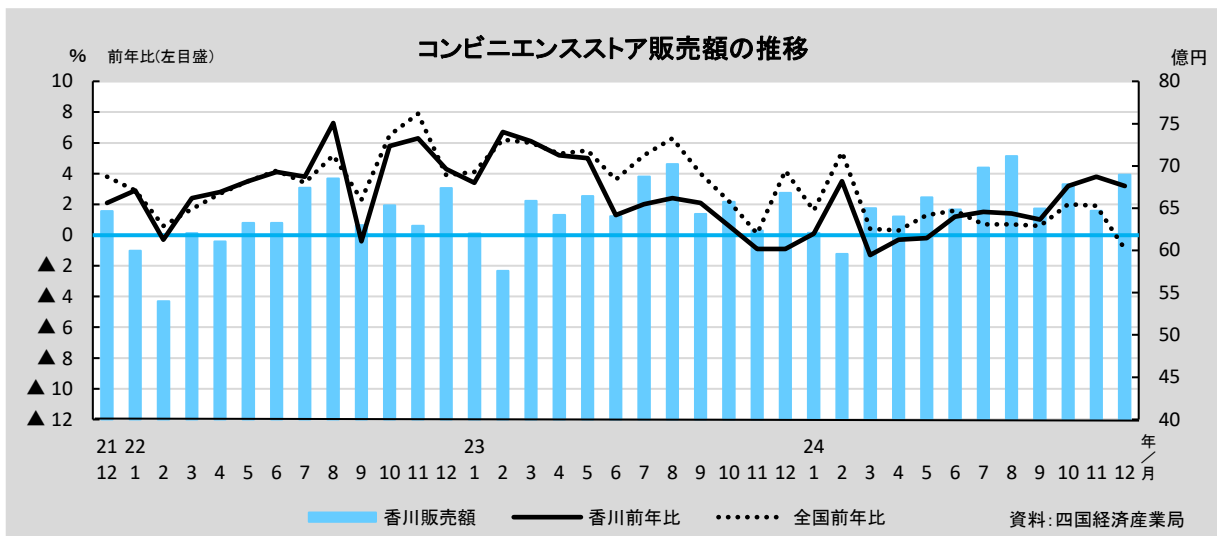


2024/12月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機器器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	136,567	74,902	1,411,423	2,597	5,920	83,899	211,200	676	1,927,184
前年同月比(%)	2.2	▲8.9	1.7	▲6.1	▲3.0	5.2	▲0.7	1.0	1.1

12月の百貨店・スーパー全店(85店)の販売額は192.7億円で、前年同月比+1.1%と2カ月連続で増加した。「飲食料品」は生鮮野菜や米の価格上昇が売上を押し上げる傾向がみられ、同+1.7%と堅調に推移した。「身の回り品」はインポートバッグやアクセサリなどの動きが鈍く同▲8.9%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

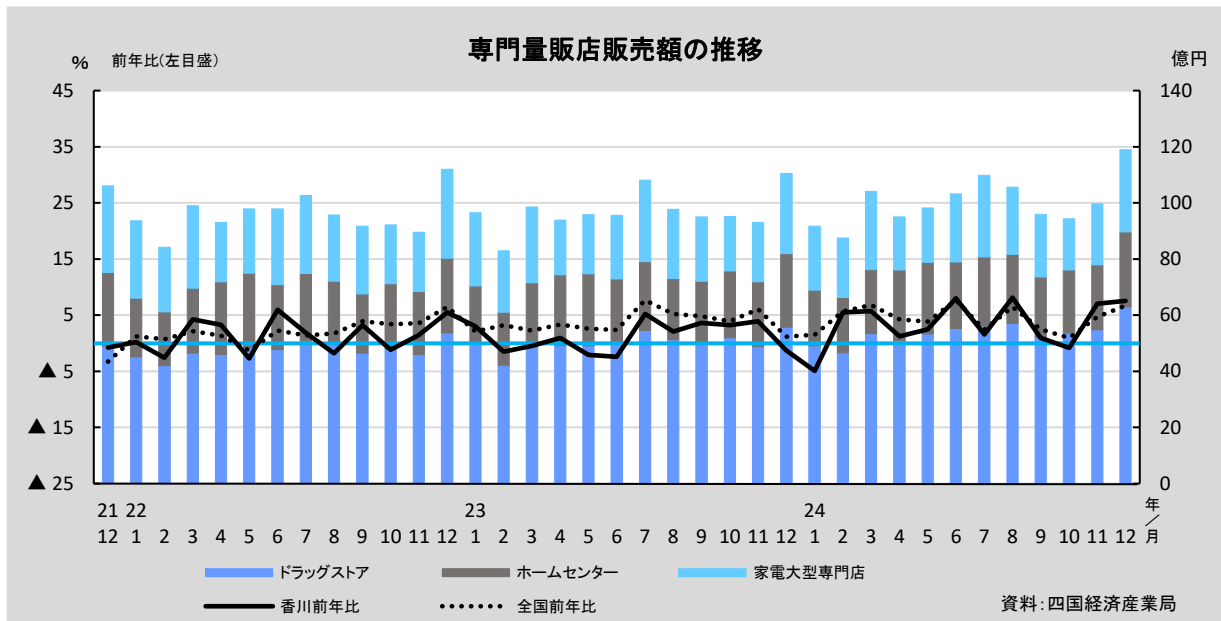
7カ月連続増加



12月のコンビニエンスストア全店(405店)の販売額は69.0億円で、前年同月比+3.2%となり、7カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

2 カ月連続増加 ↑

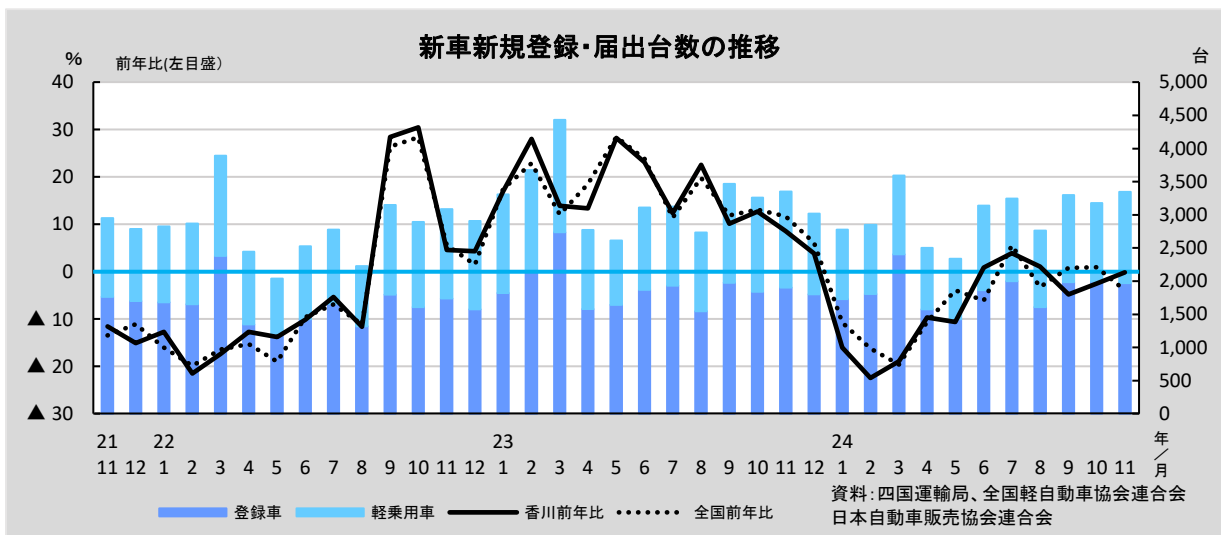


12月の専門量販店全店（229店）の販売額118.9億円で、前年同月比+7.6%と2カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27店）の販売額は、29.3億円で前年同月比+2.4%となった。**ドラッグストア**（155店）の販売額は、63.0億円で同+13.1%となった。**ホームセンター**（47店）の販売額は、26.6億円で同+1.5%となった。

●新車新規登録・届出台数

3 カ月連続減少 ↓



11月の乗用車（登録車<sup>※</sup>・軽）新車新規登録・届出台数は3,346台で、前年同月比▲0.1%と3カ月連続で減少した。<sup>※</sup>香川県の乗用車（登録車）は、普通貨物車・小型貨物車、その他を含む。

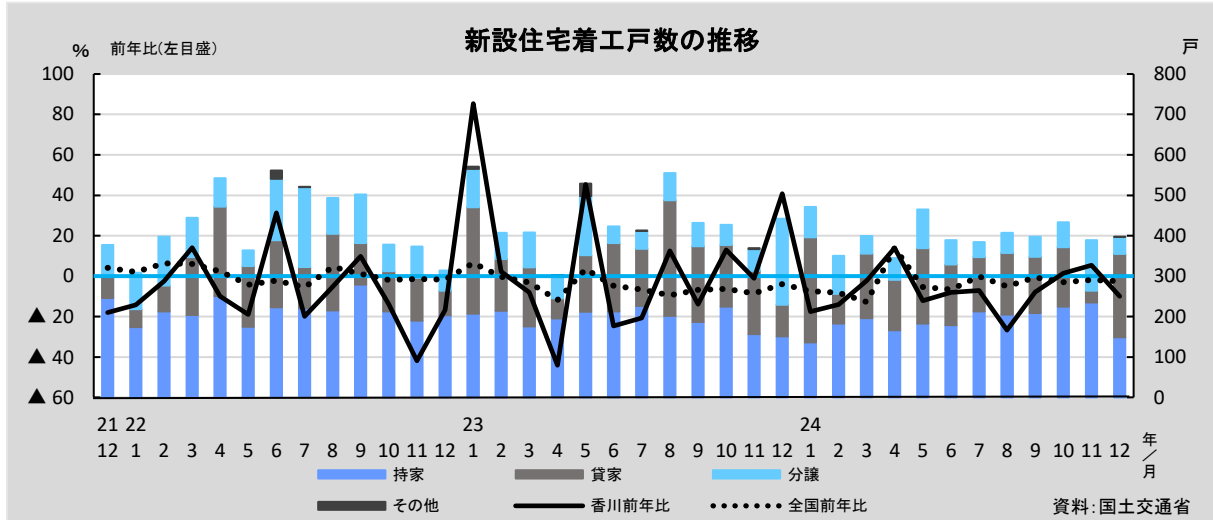
車種別にみると、登録車は前年同月比+3.5%、軽乗用車は同▲4.9%となった。

## 住宅投資

低調に推移している

### ●新設住宅着工

3 カ月ぶり減少



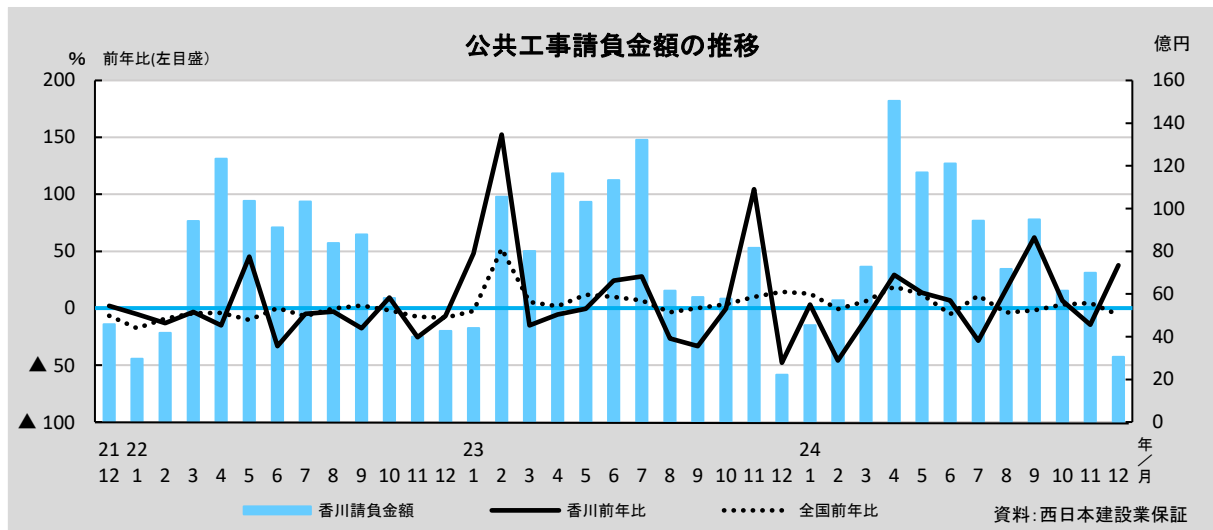
12月の新設住宅着工戸数は398戸で、前年同月比▲10.0%と3カ月ぶりに減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲1.3%、**貸家**で同+164.1%、**分譲住宅**で同▲80.3%となった。

## 公共投資

持ち直している

### ●公共工事請負金額

2 カ月ぶり増加



12月の公共工事請負金額は30.5億円で、前年同月比+37.7%と2カ月ぶりに増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+54.1%、**県**で同+13.6%、**市町**で同+54.0%となった。

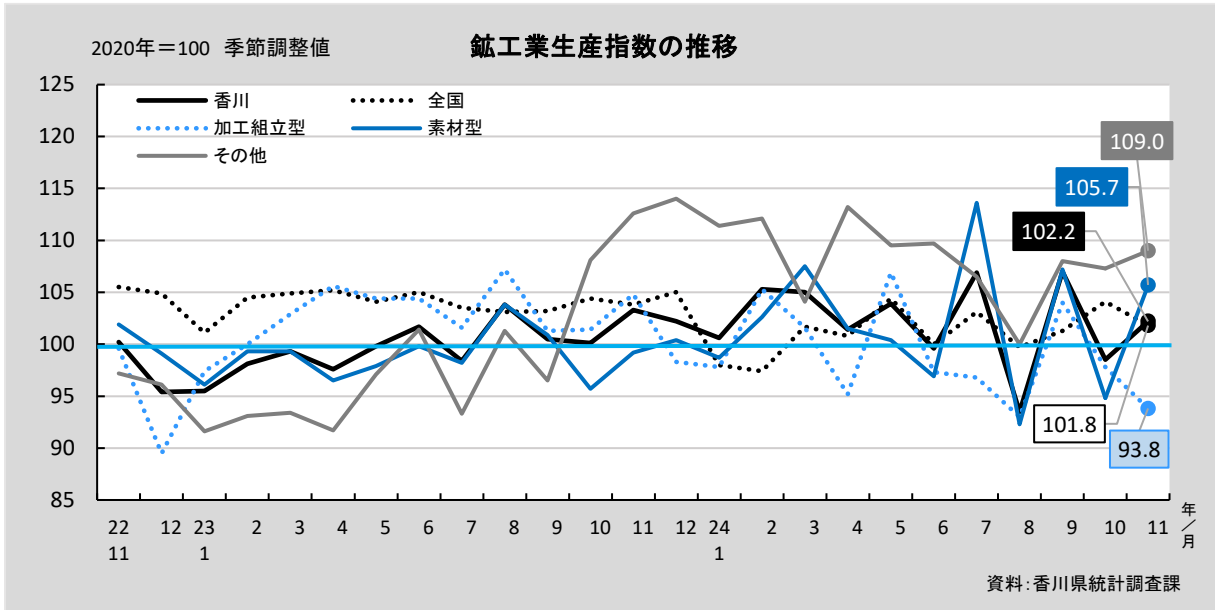
2024.4月～12月の累計では前年同期比8.6%増加している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2 カ月ぶり上昇 ↑



11月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は102.2（前月98.5）となり、2カ月ぶりに上昇した。

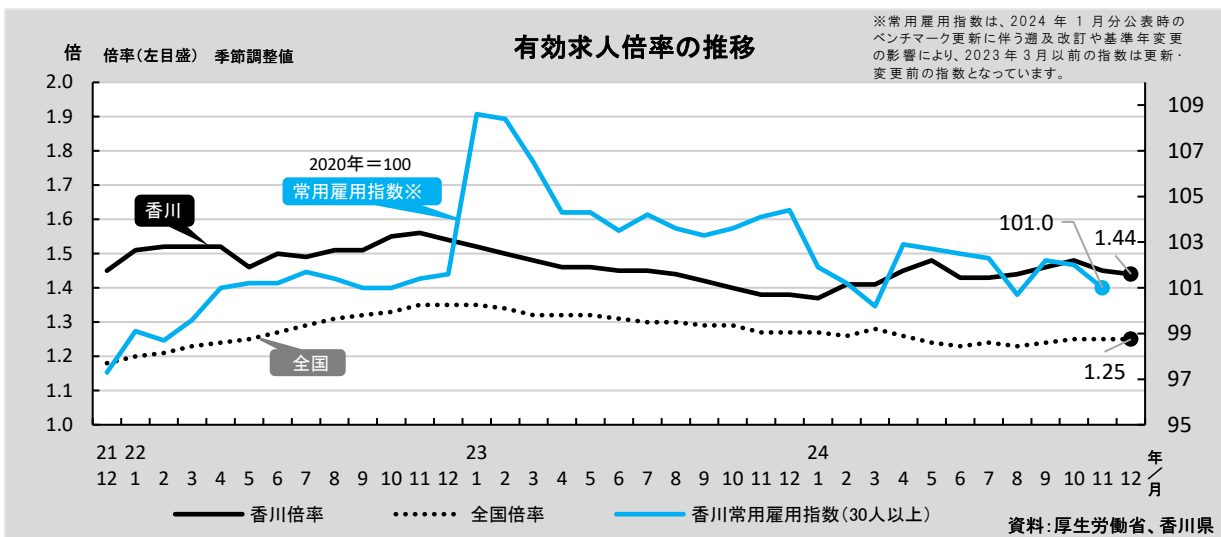
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比+39.5%、素材型の非鉄金属工業（電気金など）は同+14.7%と上昇した。一方、加工組立型の電気機械工業（発光ダイオードなど）は同▲8.4%と低下した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

2 カ月連続減少 ↓



12月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.44倍（全国6位）で前月より0.01ポイント低下した。

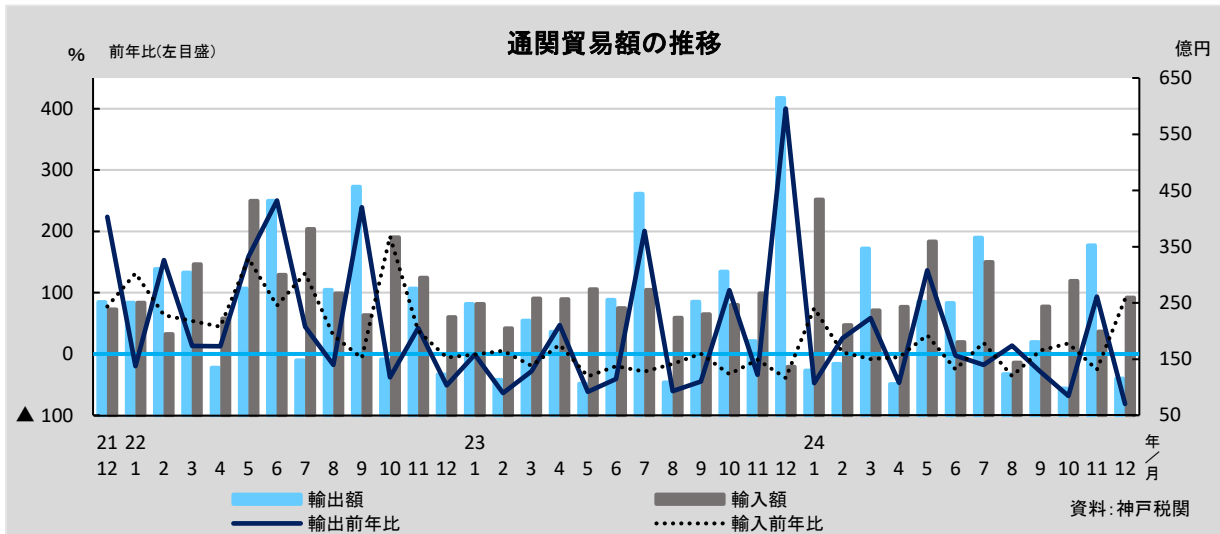
新規求人（原数値：前年同月比）は、サービス業（他に分類されないもの）、教育・学習支援業、不動産業・物品賃貸業等で増加となり、全体で+0.5%と3カ月連続で増加した。

11月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、101.0となり、前年同月比は▲3.0と11カ月連続で減少した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.51
事務的職業	0.66
販売の職業	2.47
サービスの職業	3.56
生産工程の職業	2.57
輸送・機械運転の職業	2.52
建設・採掘の職業	6.33
運搬・清掃・包装等の職業	1.23

## 貿易

輸出は減少、輸入は増加している



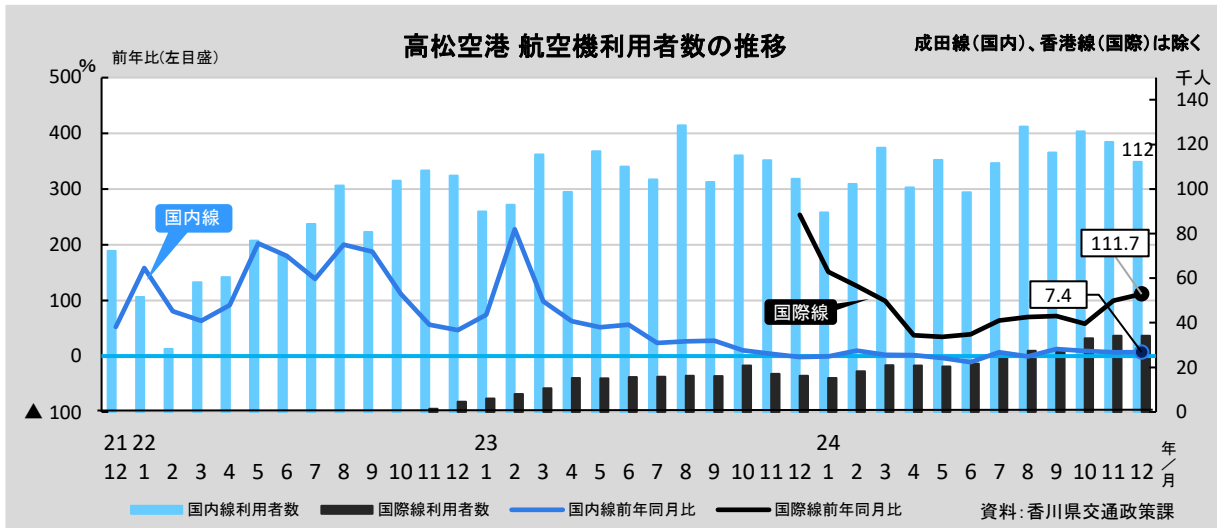
12月の輸出額は前年同月比▲81.3%の115.2億円、輸入額は同+90.0%の259.4億円となり、差し引き144.2億円の入超となった。

輸出は、貨物船輸出額が前年同月比▲99.9%の0.4億円となり減少に寄与した。輸入は、前年同月ゼロだった液化天然ガス輸入額が50億円となり増加に寄与した。

## 交通

国内線は4カ月連続増加、国際線は14カ月連続増加

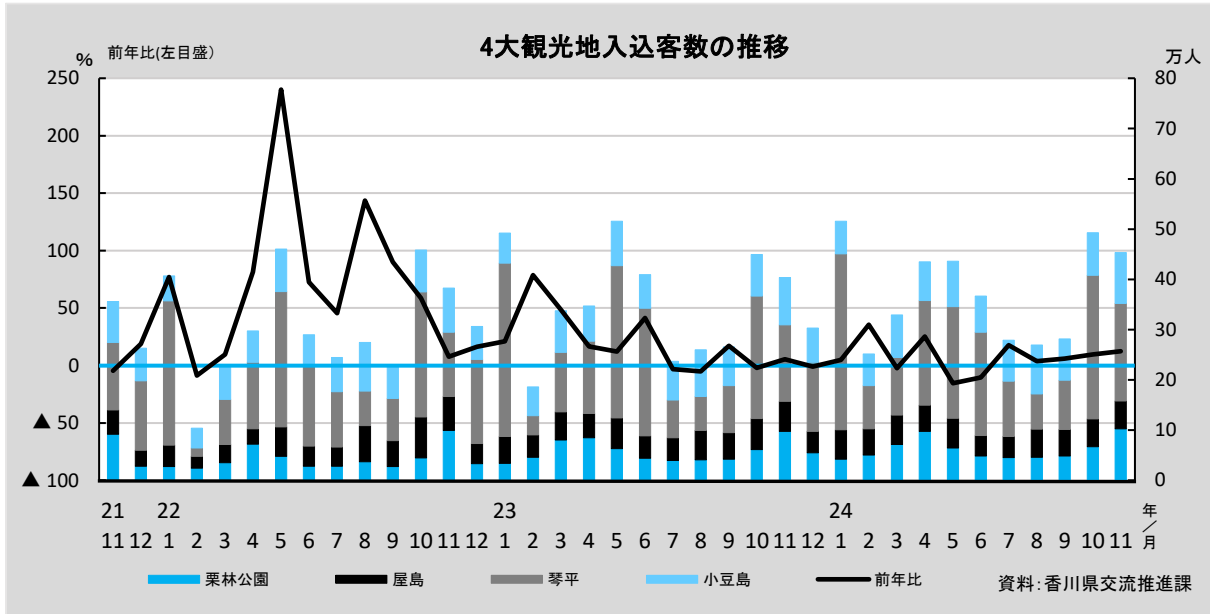
### ●高松空港旅客輸送実績



12月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が112,237人(前年同月比+7.4%)となり、4カ月連続で増加した。羽田線は103,184人(同+7.1%)、那覇線は9,053人(同+10.6%)となった。

国際線は、ソウル線22,216人(同+98.4%)、上海線6,024人、台北線5,988人(同+20.4%)で合計34,228人(同+111.7%)と14カ月連続で増加した。

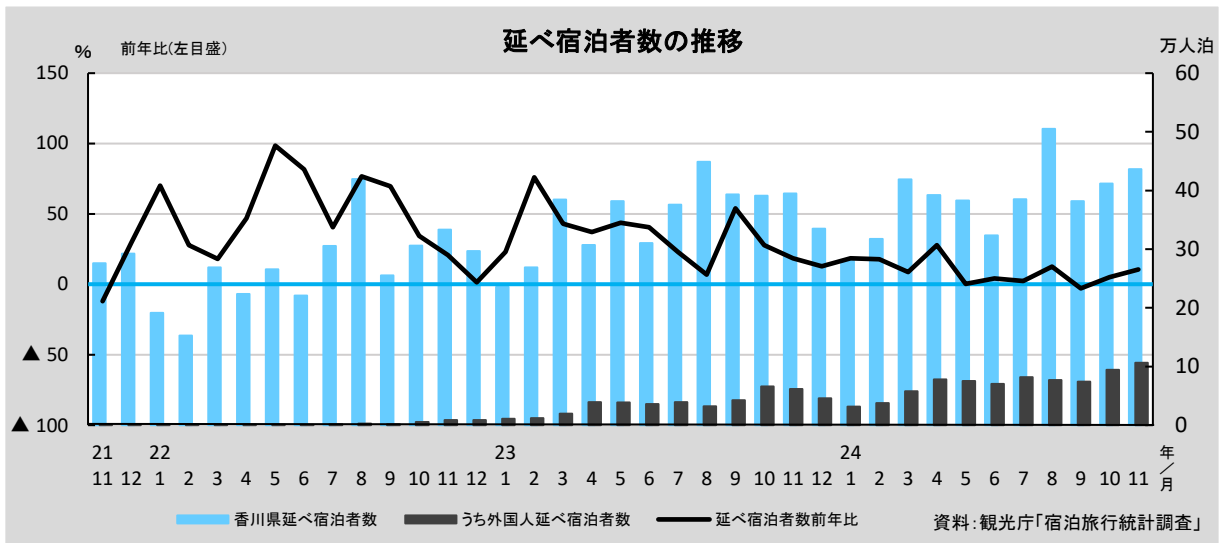
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
11月(人)	前年同月比	102,775	5.8%	55,239	▲8.5%	194,000	27.6%	101,389	8.1%	453,403	12.4%
1~11月累計(人)		683,250	8.1%	583,080	▲0.7%	1,945,000	6.0%	899,140	6.0%	4,110,470	5.3%

11月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+12.4%と5カ月連続で増加した。栗林公園は前年同月比+5.8%、琴平は同+27.6%、小豆島は同+8.1%と増加したが、屋島は同▲8.5%と減少した。1~11月の累計では前年同期比+5.3%となった。

●延べ宿泊者数



11月の延べ宿泊者数は436,480人で、前年同月比+10.5%と2カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数106,230人となり、前年同月比+71.7%と28カ月連続で増加した。